



2013.11.1
No. 146

**今号の表紙
操法大会**

小型ポンプ操法は、消防団訓練の1つで、設置された防火水槽から給水し、火災現場を想定した火点をめがけて放水、機材撤収するまでの動作の正確さや、タイムを競います。各分団は大会までの約4ヶ月間、日々訓練を重ねて大会に臨んでいます。
平成25年9月22日
旧蟹江高等学校にて開催

町議会からKanieのあなたにお届け



★CONTENTS★

9月定例会特集号

蟹江警察署の現状を視察
12月定例会の日程・編集後記
12

24年度決算を認定
財政は引き続き健全
10

総務民生
防災建設
常任委員会の審査
9



議員6人
いっぱん質問
町政を問う
4

人事案件4件
平成25年度補正予算
などを審議
3

蟹江本町地区が
本町〇〇丁目に
2

字の区域の設定



特集

9月定例会の主な内容

字の区域の設定

蟹江本町地区が本町〇〇丁目に

人事案件

教育委員会委員・固定資産評価審査委員 任命に同意

定例会の あらまし



25年9月定例会は、9月3日から25日までの会期で開きました。

▼3日(開会)

条例改正案、人事案件、24年度会計決算認定案など、あわせて26件が提案説明され、そのうち、人事案件と契約案件を可決しました。

▼6日(常任委員会)

総務民生・防災建設常任委員会が開かれ、本会議から付託された議案5件の審査をしました。

▼12日(いっぽん質問)

議員6人が、いっぽん質問(9問)しました。

▼18日(決算審査)

24年度の会計決算を審査しました。

▼25日(閉会)

契約締結案、意見書案など6件が追加提案され、質疑・討論を行った後、すべての議案を可決し閉会しました。

条例改正等を審議

後期高齢者医療に関する条例の一部改正
介護保険条例・下水道条例等

(全員賛成)

地方税法の一部改正 事業受益者負担金などに伴い、後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道使用料、下水道

字の区域の設定

(全員賛成)

複雑な町名による不便を解消するため、新町名に変わります。

○新町名

本町五ノ十二丁目

○実施区域

大字蟹江本町のうち、

大字蟹江本町のうち、

平成26年1月11日

○実施日

字ハノ割、二ノ割、チ

ノ割、リノ割、ヌノ割、ルノ割、ヨノ割、ソノ割、ムノ割、ウノ割、

キノ割、ノノ割、モノ割、セノ割、ラノ割、

ヲノ割の地域



町表彰者を決定

(全員賛成)

多年にわたり町の発展に貢献された方や、多額のお金を寄付された方などを表彰する『町表彰』受賞者の決定に賛成しました。

★町功労者3人

(教育委員会委員、学校嘱託歯科医2人)

★多年にわたり非常勤

特別職を勤められた方4人(保健所嘱託医・

学校医、都市計画審議会委員、スポーツ推進

委員、民生・児童委員)

★多年にわたり地域振

興に貢献された方1人

★多年にわたり環境美

化の向上に寄与された

方1人
★防犯施設等を寄付された団体1団体
★勤続25年以上の町職員3人(一般職、消防職、

人事案件を審議

教育委員会委員

やまだ たかひさ

山田 尊久氏

の再任に同意

(全員賛成)

任期満了(平成25年

9月30日)により、山

田尊久氏(舟入三丁目)

の再任に同意しました。

任期は4年です。

固定資産評価審査委員

せきやま かずひろ

関山 和宏氏

の再任に同意

いわた はじめ

岩田 肇氏

の再任に同意

えむら しげこ

江村 滋子氏

の新任に同意

(全員賛成)

任期満了(平成25年

11月8日)により、関山

和宏氏(今西一丁目)と

岩田肇氏(名古屋市中

川区富田町)の再任と、

伊藤玲子氏の後任として、江村滋子氏(須成字川西下)の新任に同意しました。任期は3年です。

意見書を提出

※意見書の取り扱い

町議会では、全会派

一致で採択されたもの

だけが提出されること

になっています。

国へ提出

◆学童保育の拡充と最低基準づくりを求める意見書

◆義務教育費国庫負担

制度の堅持及び拡充を

求める意見書

◆国の私学助成の増額

と拡充に関する意見書

◆愛知県の私学助成の

増額と拡充に関する意

見書

◆蟹江警察署建て替え

の早期実現を求める意

見書

補正予算案を審議

一般会計補正予算

○主な内容

◆津波避難階段・屋上

手すり設置工事

(1200万円)

鍋蓋新田排水機場を

一時避難場所にするた

め、避難階段、屋上手

りを設置します。

◆東郊線舗装整備工事

(1000万円)

藤丸団地北の橋から

その北の信号までの間

に側溝を設置します。

◆蟹江北中学校自転車

駐車場設置工事

(2576万8千円)

蟹江北中学校の自転

車駐車場を増設します。

会 計 別		補 正 額	補正後の額	審議結果
一 般 会 計		6024万5千円	91億678万円	全員賛成
特別会計	国民健康保険事業	1291万円	35億2835万2千円	全員賛成
	土地取得	1億9000万円	3億7005万4千円	全員賛成
	介護保険管理	6992万円	19億6904万2千円	全員賛成
	コミュニティ・プラント事業	46万7千円	804万5千円	全員賛成
	公共下水道事業	1891万8千円	9億1006万3千円	全員賛成
	後期高齢者医療保険事業	396万7千円	6億5294万4千円	全員賛成

契約締結案を審議

契約名	公共下水道事業 下水道管きよ布設工事 学戸新田処理分区(その1)	指揮車購入	旧蟹江高等学校解体撤去工事
契約金額	1億290万円	765万4千5百円	8190万円
落札業者	株式会社 加藤建設	平和機械 株式会社	株式会社 光
審議結果	全員賛成	全員賛成	全員賛成
内 容	平成26年度から平成30年度にかけて実施される下水道管布設工事です。	現場での最高責任者が乗車し、災害現場で活動するために指揮をするための車両を購入します。	平成25年6月議会にて取得が決定した旧蟹江高等学校跡地について、一部の校舎を除き解体するものです。

Q 猛暑の夏、学習環境にもっと配慮を！

A 石垣教育長 現場へ出向き考えていきたい。



無会派

なかむら えいこ
中村 英子



▲体育館の暑さ対策が必要ではないか

問 今年は猛暑で35度以上の日が多かった。エアコンのない小学校の教室には、扇風機を設置したが、それで暑さ対策は十分か。

鈴木教育部長 扇風機のないときに比べれば効果はあったと思うが、今年の夏のような強烈な暑さの中では、あまり効果が実感できなかったのではないかと思う。

鈴木教育部長 財政当局と相談をした上で、平成27年度から計画的にエアコンを設置したいと考えている。

問 夏の間、蟹中体育館の気温は40度近くに達し、サウナのような暑さ対策が必要ではないか。

石垣教育長 学校の先生と話をし、休憩を取りながら、水分補給をしてやっていけたら、と思っています。議員が心配されていることについては、現場へ出向きながら考えていきたい。

問 最上階では窓が閉まった状態で40度の校舎もあった。窓ガラスも扉も机も触ると熱い。エアコンを整備するつもりはあるのか。

Q 騒音の規制基準は守られているのか？

中村英子議員②

横江町長

A 町の責務を果たしていく。

問 約15年間にわたり、K社と近隣住民との間に騒音についての係争がある。横江町長は、平成21年時点で「解決したい」と言ったが、現在、K社の敷地境界線開口部で騒音基準は守られているのか。

24年3月14日に測定しているが、数字としての判断ができていないのが現状である。開口部については、騒音が出る恐れもあるので引き続き注視をしていく。

問 住民は長い間、時間とお金をかけて裁判をしている。騒音の監督官庁としてどう思うのか。

上田民生部次長 民事

上の係争について最高裁判所判決が確定していると認識をしている。これまでも騒音規制法にのっとり最善の努力をしてきた。今後も同様に努めていく。

横江町長 地域の環境は守っていく義務があるので、今後ともしっかりと注視させていただき、町の責務を果たしていく。

問 測定できないければ指導はできない、いつまでこの状態は続くのか。

上田民生部次長 平成



▲監督官庁としてどう思うのか



公明党 まつもと まさみ
松本正美

Q 避難対策は万全か

A 岡村安心安全課長
的確に避難勧告・避難指示の
発令を行いたい。



▲特別警報の意味を周知徹底せよ

問 災害時要援護者への安全な福祉避難所の普及、整備を図れ。
伊藤住民課長 現在福祉避難所の指定はないが、福祉関係者に対し、福祉避難所の理解を求め、

失することなく、的確に避難勧告・避難指示の発令を行いたい。

問 本町でも災害時要支援者の名簿作成が義務付けられた。災害時要支援者の所在を明確にするデータベース化や、地域ぐるみでの避難応援体制に取り組み、
伊藤住民課長 地域の特性や実情を踏まえつつ、各町内会長、民生委員等と協力し、避難行動要支援者名簿の整備に取り組みたい。

岡村安心安全課長 特別警報をホームページ、広報等で周知し、その効果を防災訓練等で検証したい。適切な避難実施のため、警報等各種情報を勘案し、早期に避難準備情報を発令するとともに、時期を失することなく、的確に避難勧告・避難指示の発令を行いたい。

Q 健康予防の推進を図れ

松本正美議員②

川合民生部次長

A 十分に内容を精査し、
調査研究していききたい。

問 子どものころからのがん教育の重要性が指摘されている。そこで、①中学3年生のがん教育実施の見解を示せ。②今後のがん教育の強化を図れ。
石垣教育長 ①中学3年生の保健体育の授業で、他の生活習慣病とともにがんについて学習しており、資料の有効活用を通して理解を深めることができると考えている。②文部科学省が来年度からがん教育の強化を図るという報道があり、町においても国や県の研究を受けて進めていきたい。

問 健康診断の受診やスポーツ活動への参加などで、ポイントを増やす血液検査にピロリ菌検査を導入せよ。
山本保険医療課長 海部津島の各市町村、地区医師会と綿密な連携をとり、十分検討していききたい。

めると特典の利用ができる「健康マイレージ」の導入で健康予防の推進を図れ。
川合民生部次長 既に導入している自治体を参考にしながら、十分に内容を精査し、調査研究していききたい。



▲がん教育の強化を図れ
(がんちゃん冒険より)

Q 自転車通学に免許証を



やまだ しんたろう
無会派 山田新太郎

A 鈴木教育部長
免許証的なものを出すのかは
今後の課題である。



▲蟹江北中学校体育館前自転車駐車場

問 9月会議に蟹江北中学校自転車駐車場増築予算が計上されている。増築により、自転車通学者は何人になり、全校生徒数の何%になるのか。

鈴木教育部長 許可範囲を広げることで、約240人、約60%の生徒が自転車通学をすることになると思う。

問 全国での自転車事故死者数は、23年度で635名、24年度で563名である。安全な自転車通学確保のため、自転車通学免許証制度を導入せよ。

鈴木教育部長 学校に話したところ、免許証的なものを出すのかは今後の課題だが、交通安全教室を受講し、自転車整備に合格した生徒が通学免許証の取得者として考えていきたいと聞いている。

問 9月議会には、跡地購入のため、補正予算が計上されている。現時点で跡地を購入できる状況にあるのか。また、資金計画は大丈夫か。

河瀬副町長 4月以降協議検討した結果、土壌汚染の問題等、検討懸案事項はクリアでき



▲佐藤化学工業㈱の跡地購入目的を示せ

問 3月議会の質問で、旧佐藤化学㈱跡地購入のため、議会終了後、破産管財人に会われることを強く要望したが、会ったのか。

河瀬副町長 所有者が現所有者に代わっていることを確認したため、4月に入り協議のテーブルに着いた。

問 土地を購入するに目的が必要である。町の跡地購入目的は。

河瀬副町長 北側の蟹江保育所隣接部分は園

庭の拡充・充実、西側は利用者等の駐車場を予定している。東側は現在蟹江保育所にある子育て支援センターを拡充させ、南側は当分の間、公共空地として利用し、今後議員、地元町内会と相談しながら、活用方法についてしっかりと議論を重ねていきたい。

A しっかりと議論を重ねていきたい。

河瀬副町長

Q 本町地区公共用地取得について

山田新太郎議員②



無会派

みずの としみ
水野 智見

Q 舟入地区基盤整備を問う

A 志治産業建設部次長
検討と調整が必要と考える。



▲舟入地区の将来像は
(舟入秋祭り)

問 舟入地区の将来像として、6 m以上の道路が市街化区域にする絶対条件か。また人口集中地区の認可による市街化や地区計画による基盤整備が考えられるが、町の考えは。

志治産業建設部次長

問 舟入地区の農業振興地域の見直しをした場合、今後の排水事業などに支障はあるのか。

伊藤土木農政課長

現

存する用排兼用水路の流れを変えることなく利用することとなる。

問 舟入地区南部に公共の避難所建設の予定はないのか。

岡村安心安全課長

名

古屋市、蟹江町、愛知県の間で、蟹江川排水機場を一時避難場所としての使用に関する協定を交わす方向で考えている。

Q 蟹江町の水道整備計画を問う

A 佐藤水道課長
緊急性の高い順から
工事を行っている。



清新

あんどうよういち
安藤 洋一



▲老朽管の更新計画は
(橋に架かる水道露出管)

問 耐用年数の過ぎた老朽化水道管の割合と更新工事の計画は。その工法は地盤沈下や隆起に耐えられるのか。

佐藤水道課長

耐用年

ミレニションを示せ。
佐藤水道課長 過去に、警察や消防、役場に連絡し、道路を封鎖して緊急態勢をとり、復旧工事を行ったことがある。最近大きな事故は起きていない。

問 非常時における飲料水の確保と対策は万全か。小学校等緊急避難場所非常に非常用給水設備を設置するといった具体的な案はないか。

絹川上下水道部次長

問 地中埋設管に事故が起こった場合、どのような事態になると思われるのか。事例やシ

取っている。

災害時の水の確保はされているが、想定外に備え、災害タンクの必要性を慎重に検討したい。

Q 人口減少に今から対処せよ！

A 黒川政策推進課長 関係課と連携しながら研究したい。



とや ゆうじ 戸谷裕治
無会派



▲農家の次世代職業の創出を考えよ

問 2040年には総人口が16%減の1億700万人になると予想され、最大の問題は現役世代の減少である。持続可能な町にするためにも現役世代の流入と人口維持の対策が必要だ。そこで①新しく土地を購入する若い世代に税の減免制度を設けられないか。②町長の進める防災特区計画をもっと推進すべきではないか。③農家の次世代職業の創出を考える必要があるのではないか。④空き家を若い世代に安価に貸すシステムを民間と研究すべきではないか。

①

住宅取得奨励補助金のような制度に近いが、地理的条件等を考慮し検討する必要がある。②現在の排水機場は農林水産省の管轄となつていて、特区が認められ各省庁の枠を越えた補助制度の活用が可能となれば、この地域の排水機場はより強靱になり、人口の増加につながるかと考えている。③六次産業化を含めた新たな農業展開、次世代職業の創出も考えていく必要がある。④空き家バンク制度を制度化している自治体もあり、他の自治体施策を参考とし、関係課と連携しながら研究したい。

主な工事の内容

○建物取り壊し工事
南校舎とその南にある器具庫を除き、取り壊しを行います。外周のフェンスはそのまま残し、テニスコートのハンドボールコートの

旧蟹江高等学校
解体撤去工事について



フェンスは撤去します。○設備工事
取り壊しを行わない南校舎に、水道や電気を引き込みます。
※工事車両は極力民家の少ない南側から出入りし、防音シートを設け、事前に工事の説明をするなど、近隣にご迷惑がからないよう十分注意した対応がされます。
○既存樹木・植栽撤去工事
大木はもちろん、それ以外の植栽も、邪魔になるもの以外は極力残す方向です。
○整地工事
グラウンドは現状より西に10mほど拡張して整地します。



▲解体工事が始まる旧蟹江高等学校

総務民生・防災建設 常任委員会の審査

9月定例会では、総務民生、防災建設の各常任委員会が開催され、5件の審査を行いました。質疑から一部をお届けします。

総務民生

後期高齢者医療に関する条例及び介護保険条例の一部改正
(全員賛成)

問 延滞金を納めていない人は、それぞれ何人いるのか。

能島高齢介護課長 延滞金は、保険料を全部納めたときに確定するので、納めていない人の正確な人数はわからない。しかし、平成24年度に延滞金を納めた方は、介護保険で1人、後期高齢者医療では8人である。

問 どういう人たちが未納となるのか。

佐藤民生部長 介護保険は、「サービスを利用することはない。」と言われる方、収入の面で支払いができない方、単純に忘れていた方など、いろいろな方がみえる。

問 今回の改正でどう変わるのか、具体的にわかりやすく説明してほしい。

佐藤民生部長 延滞金は、納期限を過ぎたときに発生するが、改正により延滞金の率が下がり、従来ならかかる方も延滞金が発生しないこともある。

問 介護保険、後期高齢者医療の滞納対策について、どのようにしているのか。

佐藤民生部長 後期高齢者医療は、保険料を滞納すると短期被保険者証になったり、それでも滞納が続く場合は、被保険者資格証明証というものになる。また、介護保険は、サービスが必要となったときに給付制限される。このようなことになる前に納期限を過ぎたら督促状を送付し、電話催告等を行っている。

字の区域の設定 (全員賛成)

問 委員会の委員はどんな方々が入っているのか。

黒川政策推進課長 商工会会長、土地改良区理事長、議会議長、総務民生常任委員長、防災建設常任委員長、農業委員会会長、嘱託員会会長、中部電力株式会社港営業所長、日本郵便株式会社蟹江郵便局長、名古屋法務局津島支局長、教育委員長、小中学校校長会会長、婦人会会長、一般の主婦の方々で構成されている。

問 該当者に対し、どのように案内・通知をしたのか。

黒川政策推進課長 住民説明会の折に該当者すべてに個人通知をした。

問 町界町名変更に伴う各種手続きについて、

意見要望等があったのか。

黒川政策推進課長 8月16日の会議の中では特に意見要望等はなかった。何か質問等があれば、役場の方で親身に対応させていただく。

防災建設

下水道条例等の一部改正について
(全員賛成)

問 水道は滞納になると止めることができるのか、下水道はどうなるのか。

絹川上下水道部次長 水道については3回の警告で止めさせていたが、下水道は止めることができない。

問 市街地に隣接している調整区域の方が、下水道を引きたい場合はどうなるのか。

加藤下水道課長 下水道本管に隣接している

方については無償で行うが、距離が離れている方については負担していただく。

問 藤丸団地と須成地区は高さが違うが、ポンプアップするのか。

加藤下水道課長 全体計画で排水できるように考えてあるため大丈夫である。

問 料金の一本化の方法はないのか。

絹川上下水道部次長 理想は下水道一本でいきたい。

問 どの指定業者がどれくらいの工事を受け入れているのか把握しているか。また、住民に対し業者の紹介をしているのか。

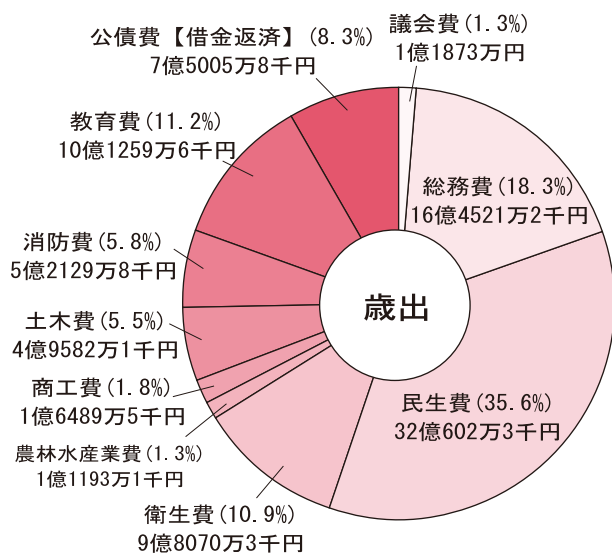
加藤下水道課長 把握はしているが、業者のあつせんはできない。

けっさん 24年度 審査



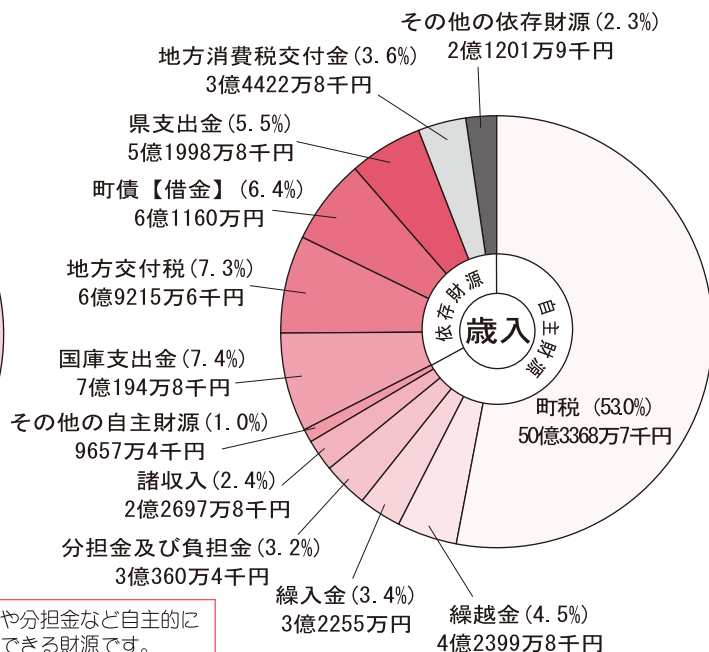
24年度決算（一般会計、特別会計6件、水道事業会計）
認定案を審議し、すべて原案どおり認定しました。
私たちが指摘した内容の一部をお届けします。

歳出90億726万7千円 一般会計決算のなかみ 歳入94億8933万円
(自主財源：67.5% 依存財源：32.5%)



※各項目で四捨五入しているため
合計が合わない場合があります。

自主財源とは？ 町税や分担金など自主的に
収入できる財源です。
依存財源とは？ 町債や国庫支出金のように
国や県に依存して調達する
財源です。



★実質赤字比率

一般会計等を対象とした実
質赤字の標準財政規模に対
する比率

★連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤
字の標準財政規模に対する
比率

★実質公債費比率

一般会計等が負担する償還
金の標準財政規模に対する
比率

★将来負担比率

一般会計等が将来負担すべ
き実質的な負債の標準財政
規模に対する比率

★資金不足比率

公営企業などの資金不足額
の事業規模に対する比率

★標準財政規模

地方自治体の一般財源の標
準の大きさを示す指標
地方税や地方交付税など地
方公共団体が自由に使える
お金の大きさを表している
※蟹江町：66億8300万円

★一般会計等健全化判断比率

区 分	24年度	23年度	早期健全化基準 (24年度)
実質赤字比率	黒字のため 計上されない	黒字のため 計上されない	14.16%
連結実質赤字比率	黒字のため 計上されない	黒字のため 計上されない	19.16%
実質公債費比率	6.2%	6.4%	25.0%
将来負担比率	34.8%	43.2%	350.0%

★資金不足比率

会 計 名	24年度	23年度	経営健全化基準 (24年度)
名古屋都市計画事業蟹江第二 学戸土地画整理事業特別会計	資金不足額はない ので計上されない	資金不足額はない ので計上されない	20.00%
公共下水道事業特別会計	資金不足額はないので 計上されない		20.00%
水道事業	資金不足額はないので 計上されない		20.00%

町財政は引き続き健全

24年度

決算収支状況

◎は全員賛成

○は賛成多数

(金額は千円単位に四捨五入)

会計別	歳入	歳出	差引
◎ 一般会計	94億8933万円	90億726万7千円	4億8206万3千円
特別会計			
◎ 国民健康保険事業	37億1797万4千円	35億1997万2千円	1億9800万2千円
◎ 土地取得	2936万7千円	2936万7千円	0円
◎ 介護保険管理	18億4114万7千円	17億7122万7千円	6992万円
◎ コミュニティ・プラント事業	932万7千円	885万9千円	46万8千円
◎ 公共下水道事業	7億9386万6千円	7億7494万7千円	1892万円
◎ 後期高齢者医療保険事業	6億2701万2千円	6億2368万9千円	332万3千円
合計	165億802万3千円	157億3532万8千円	7億7269万6千円
◎ 水道事業	7億4393万3千円	7億9488万2千円	△5094万9千円

※各会計の合計額と差引額は、四捨五入したことにより合致しない個所があります。

問 公債費比率、将来負担利率が早期健全化基準から大幅に下回っており、財政規模はもう少し広げられるのではないか。

びをチェックし、入ってくる税金を眺めながら、将来に対してのツケ、財政調整基金も視野に入れないながら、これからも予算立てしていきたい。

問 「今年度より管理

職の退職者が急増する」と監査委員が指摘された。今後の人事はどう考えているのか。また、女性管理職の登用は。

また男女雇用均等法、共同参画の理念を受け継いで女性管理職を登用できるよう考えていきたい。

問 ごみ集積場は、場所によってはごみがあふれ返っている。もう少し分散できないか。

問 水辺スポットの除草は職員が行うのではなく、事業として予算化してやるべきではないか。

横江町長 相対的な考え方は担当者に示したが、具体的なことはこれからである。再任用と臨時職、別の雇用制度も使い、しっかり検討しながら人事配置をしていきたい。

問 ホームページのバナー広告での収入は増えているのか。

上田民生部次長 ごみ集積場は現在905ヶ所あり、収集場所の新設や変更は環境課に相談いただきたい。

水野産業建設部長 維持管理の予算が倍増となれば全て業者に発注できると思うが、現状ではそこまでの予算が確保できないので、職員での対応を一部させていたideている。

監査委員の意見

一般会計・特別会計決算審査意見書から(要旨)



伊藤 監査委員

▲議場で審査意見を述べる
平野代表監査委員

平成24年度一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況を表す書類を審査した結果、おおむね適正に執行されており、その内容は正確であると認められた。

町税の収入未済額は、前年度に比べて9710万3千円、国民健康保険税は8015万3千円減少している。これは平成23年度より愛知県西尾張地方税滞納整理機構へ派遣した職員が2名となり、滞納徴収もスムーズに行われ、また、滞納になる前に電話催告等を行ったことが未納額減少の要因であると思われる。今後税の公平性を保つため、踏み込んだ滞納対策を実施されることを望むものである。

歳出については、効率的な財政運営に努められているが、各施設の老朽化により、建物・空調関係の修繕が多くなってきている。今後も修繕料が増大すると思われるので、耐用年数等を考慮の上、計画的に修繕を行うことが望ましい。

また、今年度より管理職の退職者が急増するが、今後の行政運営に支障がないよう、適正で計画的な人事配置、人事管理が必要であると思われる。

最後に、景気が上向き傾向にあるが、未だ財源確保が困難な状況が続いている。今後の行政運営にあたり、合理的でよりよい行政サービスに努められることを切望するものである。

蟹江警察署の現状を視察

平成25年9月13日、正副議長と各委員会委員長の6名で、「蟹江警察署建て替えの早期実現を求める意見書」の提出を前に、蟹江警察署を視察し、現状を再確認しました。



▲蟹江警察署



▲蟹江警察署長から説明を聞く議員

蟹江警察署長から早期建て替えの必要性についての説明を受けた後、警察署内の現状を見学しました。普段目にするものの少ない留置施設や、取調べ施設等も見学し、想像以上に窮屈で老朽化の進んでいる現状に皆驚きを隠せませんでした。

警察機能強化や災害警備活動拠点としての機能強化、住民サービスの向上のため、早期建て替えの必要性を強く感じた視察となりました。

ようこそ蟹江町へ

飛島村議会がまちなか交流センターを視察研修

平成25年9月11日、飛島村議会文教厚生常任委員会の皆様方が、蟹江町まちなか交流センターについて視察研修されました。

まちなか交流センターの概要を説明し、活発な質問がなされた後、まちなか交流センター現地を視察していただき、白イチヂク、カワラケツメイ茶の試食をしていただきました。



▲まちなか交流センターを視察する飛島村議会の皆様

熊本県大津町議会が防災の取り組みについて視察研修

平成25年9月27日、熊本県大津町議会総務常任委員会の皆様方が、市町村間との協定等、蟹江町の防災の取り組みについて視察研修されました。

海拔0メートル地帯という特殊な環境であり、周辺地域との協力が必要な蟹江町での取り組みが、大津町の参考になればと思います。



▲熱心に説明を聞く大津町議会の皆様



編集後記

今年も暑い日が続きましたが、田んぼには稲穂が黄金色に染める季節がやってきました。

9月議会には一般質問、決算審査と活発な意見が交わされました。

最終日には、住民の安心・安全を守る蟹江警察署建て替えの早期実現を求める意見書案を可決し、意見書を愛知県へ提出しました。(松)

12月定例会の日程

議会放映

一般質問の様子をクローバーTVで生放映。当日午後7時から再放映も実施!

2日(月)開会

3日(火)2日の予備

5日(金)常任委員会

12日(木)一般質問

13日(金)12日の予備

17日(火)最終日

※議事の都合により日程は変更になる場合があります。

※赤字の会議は傍聴することができます。傍聴席は役場3階にあります。

【問い合わせ】議会事務局 電話(95)1111(代表)内線301・302